

## 第 8 回検討委員会要旨

平成 19 年 11 月 8 日  
AM10 時 ~ 11 時 35 分  
場所：浪切ホール 研修室 1

### 主な内容

事務局より、丘陵地区の基本構想を考えるため、SWOT 分析を用いて地区の特性を検証し、基本構想の施策の方向性を提示した。また、これら施策を実践している全国の事例を紹介して、その事例が成功している要因はその組織にあることを確認した。

また、地域資源を活かした自然と交通の骨格と、基本構想の施策を踏まえた「共存・連携」を考えた土地利用ゾーニングを検証し、土地利用構想図を提示した。

委員からは主な意見として、

「参考事例を真似しても岸和田では成功しなくて、これを参考にして岸和田のプロジェクトというか、仕組みを作っていく必要がある。」「組織も環境問題についても地元の人にも入ってもらって、その意見も尊重しながらやらないと続かないと思います。」

「この構想案は、話し合いをしながら部分修正を重ねて、時代の流れ・背景・社会情勢などに柔軟に対応して、構想案を見直しながら検討を積み重ねていくことを明記しておいたほうがいいのではないか。」「この基本構想の次の段階が非常に大事。」「やれる地域がだいたい限定されるので、そこの人に集まってもらってそれぞれの構想を出し合って、徐々に話し合いをせんと大きなかたまりでは前へ進まない。」「もうちょっと具体的になったときに、地権者全部集まってもらって話をして、ある程度まとめていかないと最後には潰れてしまう。」「構想がきちっとできた次の段階から、どんな組織をつくって、どう動くかが非常に大事だと思います。」 等その他。

要約しています。詳細については議事録本文をご覧ください。